

「自分らしさ」と「きちんと感」の両方を併せ持つ 今どき女子大学生たちの美容行動とおもい

生活者研究センター
ビューティケア研究室

高校を卒業し、校則からも受験勉強からも解放された女子大学生たち。2018年2月の現場レポートで報告した女子高校生と同様にデジタルネイティブ世代の彼女たちは、スマホ等でSNSを通じ、常に人から見られる意識の中で、日々生活をしています。本格的にメイク等を始める彼女たちの美容行動とおもいを報告します。

●今どき女子大学生の美容行動

- ・自分らしい髪色にしたい
- ・メイクすることはマナー
- ・きれいな素肌づくり

●今どき女子大学生の美容における行動とおもい(3つの事例から)

- ・おしゃれ女子から評価されること
- ・誰からも嫌われないこと
- ・周りから浮かないこと、目立たないこと

●併せ持つ「自分らしさ」と「きちんと感」

【調査概要】

「女子大学生の美容意識・行動実態」

調査期間：2017年12月、2018年3月

調査方法：家庭訪問インタビュー

調査対象：首都圏在住大学生女子

対象人数：14人

今どき女子大学生の美容行動

女子大学生たちへのインタビュー調査から、彼女たちの美容行動は、高校時代の制約から解放され、自由に髪色やメイクを楽しむ「自分らしさ」と、周囲から嫌われないよう、誰からもきちんとした人に見られるように他者の目を意識した「きちんと感」を併せ持っていました。

ヘア

髪色で「自分らしさ」をアピール でも、髪こそ「きちんと感」を大事に

手軽にアレンジできる「自分らしさ」として、多くの女子大学生が1年生の夏までに茶髪デビューをしていました。「高校の卒業式の次の日に染めた!」といった声もあり、カラーリングを楽しんでいました。その一方で、他人に不快感を与えないように「きちんと感」も重要視しています。スタイリングでは「髪こそきちんとしていないとだらしのない感じが出る」と考えていて、忙しい朝でも寝ぐせや浮き毛をきちんと整えていました。



メイク

メイクすることは「マナー」と認識

メイクすることは「マナー」と考え、多くの女子大学生は毎日メイクをしています。ベースは素肌っぽく見えるように作るのが主流ですが、「マナー」と考えるからこそ、メイクをしていることがひと目でわかる「メイク感」に重点を置いていました。特に、アイメイクや口紅などのポイントメイクの使い方、色使いなどにこだわりが見られました。



スキンケア

肌は「土台からきれい」が基本

肌は「土台からきれいに」というこだわりは、女子高校生と同様、彼女たちのスキンケアの基本になっています。メイク落としから洗顔、保湿に至るまでいねいで意識の高いケアを心がけていました。そこには、ニキビ・乾燥などで肌の状態が乱れていることで「ちゃんとしていない人」という印象を持たれないようにというおもいがありました。また、高いスキンケア意識の背景には、若い頃の紫外線対策の不足によるシミなどの失敗体験やエイジングの悩みのある母親からのアドバイスが影響しているようです。それを素直に受け入れ、さらに努力もするところも今どきの女子大学生らしさのように見受けられました。



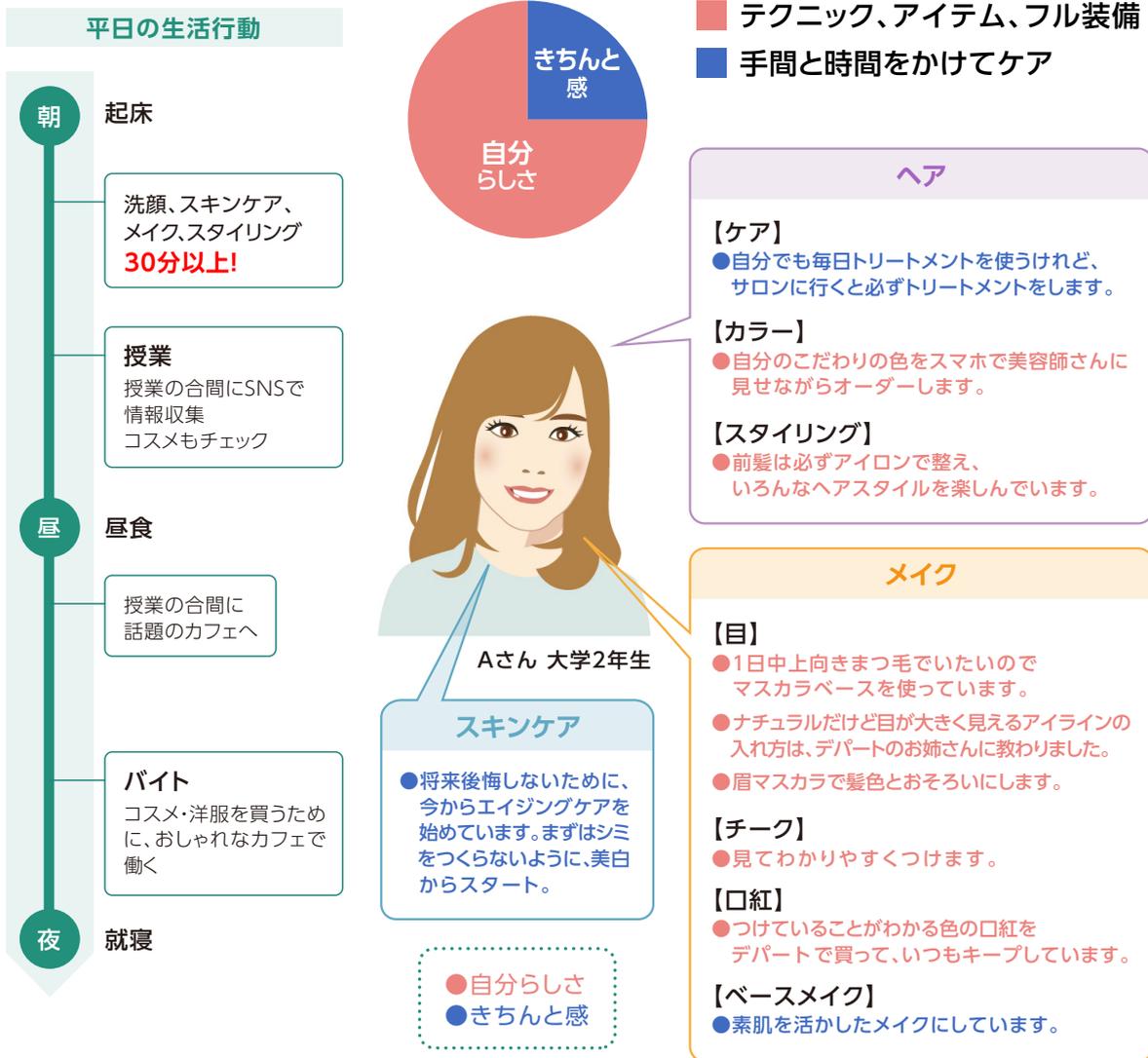
今どき女子大学生の美容における行動とおもい

日頃の美容や生活の様子などをインタビュー調査した女子大学生たちの事例を紹介します。Aさん、Bさん、Cさん、それぞれに自分流のこだわりを持っていました。

事例1

「おしゃれ女子から評価されることが大事」なAさん

～見た目重視の美容トレンドを追いかけたい～



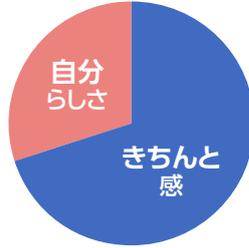
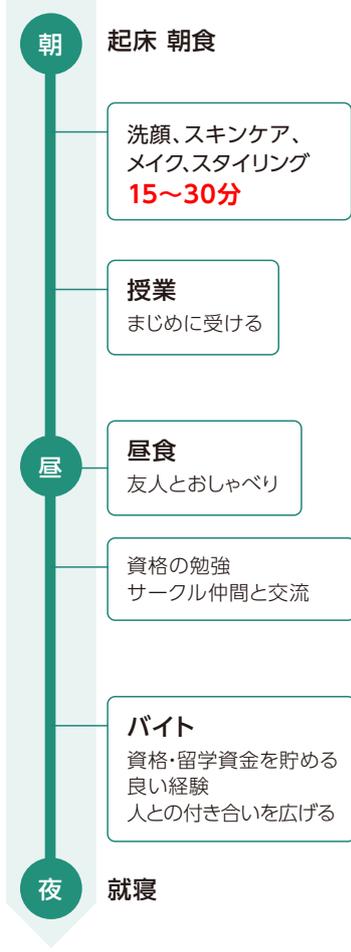
「おしゃれ女子から評価されることが大事」なAさんは、おしゃれなものが大好きで、SNSでの情報収集も熱心に行っていました。トレンドを追求するために、たくさんのメイクアイテムを所有し、メイクテクニックも磨き、もっとおしゃれになりたいという向上心も持っています。友達と話題のカフェでランチをしてInstagramに積極的にアップしたりなど、人から見られる意識も高く、自分と同じようなおしゃれに興味がある女性から評価されることに喜びを感じていました。

事例2

「誰からも嫌われないことが大事」なBさん

～美容は効率よく済ませたい～

平日の生活行動



- 見て分かるポイントを集中的に、手間をかけずに効率重視
- 目立ちやすい部分だけ見た目を整える



Bさん 大学2年生

スキンケア

- 粉吹き、ニキビはNG!
- 洗顔、保湿をしっかりして、土台からきれいになれるように、スキンケアをがんばる。

- 自分らしさ
- きちんと感

ヘア

【ケア】
●トリートメントで自分でケアします。

【カラー】
●ダークカラーでメンテナンスを楽しみます。

【スタイリング】
●メイクより重要!少しの浮き毛も許せないからアイロンでしっかり抑えています。

メイク

【目】
●誰が見てもわかるように目じりのアイラインだけは欠かせません。ビューラーはするの面倒なので、まつ毛パーマかけちゃいます。

【チーク】
●チークを使っていることがちゃんとわかるように入れます。

【口紅】
●赤リップはかわいくて、使っていることもよく分かるので大好き。

【ベースメイク】
●素肌がきれいに見えるように心がけています。

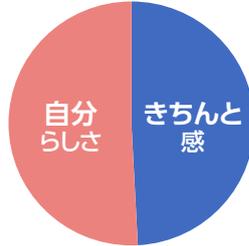
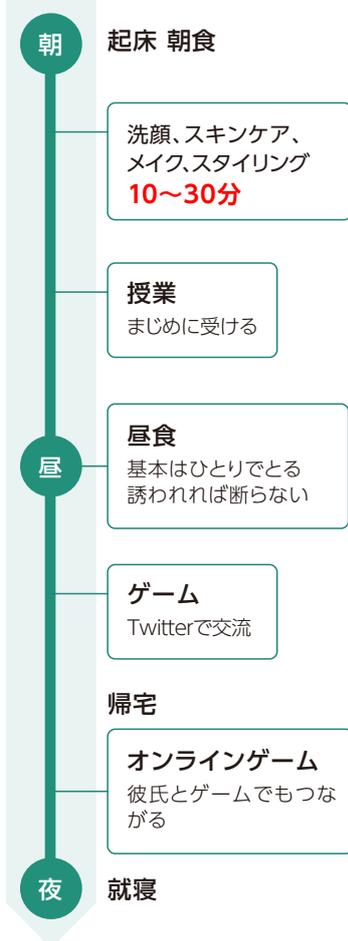
「誰からも嫌われないことが大事」で、友達、サークル、バイトなどで幅広い人と関わっているBさんは、さまざまな場面で見られるという意識から「きちんと感」を重視していました。ちょっとした手抜きからだらしく見られることを避けるため、浮き毛などは毎朝ヘアアイロンを使ってスタイリングをしていました。メイクは誰が見てもメイクしているのがわかることが重要。メイク上手な友人を観察し、「目尻より長めにアイラインを描く方がアイシャドウをがんばって入れるよりもメイクしてる風に見える」「まつ毛パーマで、ビューラーも使わなくて済む」など、できるだけ手間をかけずに、ポイントメイクで「メイク感」を出していました。優先順位をつけ、上手に「自分らしさ」と「きちんと感」も取り入れていました。

事例3

「周りから浮かない、目立たないことが大事」なCさん

～美容よりも趣味に時間を使いたい～

平日の生活行動



■ 人気のコスメやメイク方法を
トライ&エラー

■ 気になる悩みを極力少なく



Cさん 大学2年生

スキンケア

● 頬の赤み・ニキビ跡が
悩み。悩みのない肌を
目指したい。

ヘア

【カラー】
● 印象を変えたいのでヘアカラー。

【スタイリング】
● アイロンで寝ぐせを直して前髪を整えます。

メイク

【目】
● 一重はキライ。でも印象が変わりすぎるので、無理に二重を作らない。

【口紅】
● @コスメで上位だったリップを使っています。

【ベースメイク】
● 頬の赤みやニキビ跡の隠し方をネットで調べ、見つけたコンシーラーを使っています。

- 自分らしさ
- きちんと感

「周りから浮かない、目立たないことが大事」なCさんは、家では多くの時間をパソコンや趣味に使っているようです。メイクなどを始めたのは大学に入ってしばらくしてからで、テクニックも知識もまだあまりなく、ネットで情報を集めてアイテムを購入していました。気になる悩みを極力少なくすることで「きちんと感」を出そうとしていました。メイクもスキンケアも初心者として試行錯誤を繰り返しながら、自分のペースで美容のレベルアップを目指そうとしていました。

併せ持つ「自分らしさ」と「きちんと感」

今どきの女子大学生たちには、自分らしい髪色にしたり、メイクすることはマナーと捉えていたり、きれいな素肌づくりに力を入れるなど、美容行動がみられました。そして誰もが、なりたい自分の実現を目指す「自分らしさ」と、周囲の人に不快感を与えないように努める「きちんと感」を持っていましたが、そのバランスは異なっており、ライフスタイルや見かけも多様でした。

なかでも「きちんと感」は、SNSを通じたコミュニケーションの中で育ち、常に人から見られる意識を身に着けた世代ならではのものと考えられます。「きちんと感」にあらわれる人への気配りを意識する彼女たちを、これからも見続けていきたいと思えます。

●お問い合わせ・ご意見は **花王株式会社 生活者研究センター**

〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3 TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00) FAX. 03-5630-9584

くらしの研究 www.kao.co.jp/lifei/

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。